



2014年7月12日

発行者：日本ろう者テニス協会

取材/編集：尾形スタッフ

- 日本を出発そして長い一日 - 第1日

コーチ 内藤 公広

男子

都丸 直樹 男子主将

棟地 英征

鈴木 裕将

女子

豊田 恵子 女子主将

龍野 由佳

尾形 滋子 スタッフ兼任



<一日の流れ>

12時 成田空港集合・昼食

13時 チェックイン・記念写真等

15時55分 デルタ航空 アトランタ行

(フライト12時間)

7月12日15時半（現地時間）アトランタ着

19時15分 アトランタ発 チャタヌーガ行

20時5分 チャタヌーガ着

21時 買い出し後、ホテル到着

21時半 ミーティング

内藤JAPAN

坂井会長、梶野事務局長、斎藤強化対策部長、その他テニス仲間、そして数多くのご声援に見送られ、成田空港を出発しました。

成田空港では、同じ時期にミシガン州で開催される世界デフゴルフ大会に出場する日本代表チームと遭遇し、お互い激励しあいました。

今回は、6人中4人が世界大会初出場です。

男子は3人全員が初の世界大会で、代表決定した後、5月頃まではプレッシャーからか、行き詰まり苦しむ姿が見られましたが、世界大会経験者をはじめ、多くのベテランのテニス仲間が練習相手や指導をしてくださいり、力をつけてきました。

女子は最初出場が懸念されていましたが、デフリンピックの経験者である豊田選手が、今後のために若手に世界の経験を！と協会に働きかけ、出場させていただけることになったチームです。年齢もキャリアもバラバラですが、周りの方々から協力をいただきながら、特にコミュニケーションに重点をおいて練習を重ねてきました。

若手を中心とした内藤JAPAN、今回無事に出発できたのはひとえに皆様のおかげです。
デフテニスの未来のために戦ってきます！

さて、フライトは12時間におよび、乗り継ぎ地のアトランタでは3時間待ちという長旅でした。

明日は、試合に向けて調整する大事な一日ですが、ここチャタヌーガは超がつく暑さらしいです。
湿度がかなり高く、陽射しが相当強く、日本の日焼け止めでは間に合わないほどだそう。

ミーティングでは、明日の予定の確認と、暑さ対策についての注意の確認をし、解散しました。

明日はいよいよドローが決定します！

調整も含め、戦いは明日から始まります。皆さまご声援よろしくお願ひします。

